

赤磐市立山陽西小学校排水設備改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	NS
A-01	共通特記仕様書	NS
A-02	建築改修工事特記仕様書 1	NS
A-03	建築改修工事特記仕様書 2	NS
A-04	建築改修工事特記仕様書 3	NS
A-05	建築改修工事特記仕様書 4	NS
A-06	建築改修工事特記仕様書 5	NS
A-07	建築改修工事特記仕様書 6	NS
A-08	建築解体工事特記仕様書	NS
A-09	付近見取図、配置図、仮設計画	NS・1:300
A-10	トイレ改修仕上表、1・2 階平面図	1:400
A-11	トイレ3・4 階平面図	1:400
A-12	トイレ改修工事図	1:50
M-01	機械設備特記仕様書	NS
M-02	衛生設備 機器表	1:20
M-03	外構配管平面図 新設	1:200
M-04	外構配管平面図 既存撤去	1:200
M-05	衛生設備 1-1 棟 3 階女子職員便所 改修平面図	1:20
E-01	電気設備特工事記仕様書	NS
E-02	電気設備平面図 新設	1:200

[illegible]

Form containing various construction specifications and tables for materials, dimensions, and construction methods. Includes sections for concrete, steel reinforcement, and other building materials.

建築解体工事特記仕様書			6 関係法令等の遵守 [1. 1. 13]	「鉛等有害物を含む塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について（基安労衛0530第1号、基安化衛0530第1号 平成26年5月30日）により、鉛等有害物を含む塗料の剥離やかき落とし作業を行う場合には、塗料における鉛等有害物の使用状況を適切に把握した上で、鉛中毒予防規則等関係法令を遵守する。	5 石綿含有建材の除去等	1 適用範囲 [6. 1. 1] 2 施工調査 [6. 1. 3]	建築設備に使用されている石綿含有材の処理 ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクアノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロソライト、トシモライト 分析手法 <table><tr><th>材料名</th><th>分析方法（定性）</th><th>分析方法（定量）</th></tr><tr><td>JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4</td><td></td></tr><tr><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 箇所	材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4		・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	7 その他	1 砂利地盤 <4. 6. 2> <4. 6. 3> 2 捨コンクリート地盤 <4. 6. 4> <6. 14. 1> 3 路 床 <2. 2. 2> <2. 2. 3> <2. 2. 5> 4 路 盤 <2. 3. 2～3> <2. 3. 5> 5 アスファルト舗装 <2. 4. 2～6>	材 料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 ・砂利厚さ ・60mm 適用箇所 ・基礎掘下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・図示による（ ） 捨コンクリートの厚さ ・50mm 適用箇所 ・基礎掘下、土に接するスラブ下 ・図示による（ ） 設計基準強度 ・18N/mm2 スラブ厚 ・15cm・18cm 路床の材料・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン・クラッシュラン ・切込み砂利・砂厚さは図示による ・フィルター層 ※砂 厚さは図示による 路床安定処理・行う ※添加材料による安定処理 種類・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（特号・1号） 添加量 kg/m2（自置CBR ※5以上 ） ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m2 以上 厚さ（mm） 0.5～1.0 引張強さ 98N/5cm（10kg f/5cm）以上 透水係数 1.5×10 ⁻⁶ cm/sec 以上 底土に用いる材料 ・A種 ※B種・C種・D種・建設汚泥から再生した珪土 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・行わない 路床の締め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ※行う ・行わない																												
材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）																																																			
JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4																																																				
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																			
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																			
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																																																			
I. 工 事 概 要			7 施工数量調査 [1. 4. 2] 8 技能士 ⑨ 完成時の提出図書	調査範囲及び調査方法 ※ 図示 調査報告書 提出2部 ・とび作業（ ※一級 ・二級 ） 完成図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要	3 石綿粉じん濃度測定 [6. 1. 4]	測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定 点（各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td>・ 測定1</td><td>始業作業前</td><td>始業作業室内</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定2</td><td>始業作業前</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定3</td><td></td><td>始業作業室内</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定4</td><td></td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td>始業作業中</td><td>集じん・排気装置の排出口（始業作業室の場合）</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定6</td><td></td><td>始業作業室内</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定7</td><td>始業作業後（シート養生中）</td><td>始業作業室内</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定8</td><td>始業作業後シート</td><td>始業作業室内</td><td>・ 計 点</td></tr><tr><td>・ 測定9</td><td>始業後1週間以降</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・ 計 点</td></tr></table> 測定方法 ・自動測定器による測定 <table><tr><th>測定名称</th><th>測定方法</th></tr><tr><td>・測定4・測定5</td><td>粉じん曝露濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粉じん自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr></table> ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 ・測定4 ・測定5 ・測定（ ） ・測定（ ） ・測定（ ） ・測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試験の吸引流量（l/min） 5 10 10 試験の吸引時間（min） 30 120 240	適用	測定名称	測定場所	測定 点（各施工箇所ごと）	・ 測定1	始業作業前	始業作業室内	・ 計 点	・ 測定2	始業作業前	調査対象室外部の付近	・ 計 点	・ 測定3		始業作業室内	・ 計 点	・ 測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点	・ 測定5	始業作業中	集じん・排気装置の排出口（始業作業室の場合）	・ 計 点	・ 測定6		始業作業室内	・ 計 点	・ 測定7	始業作業後（シート養生中）	始業作業室内	・ 計 点	・ 測定8	始業作業後シート	始業作業室内	・ 計 点	・ 測定9	始業後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点	測定名称	測定方法	・測定4・測定5	粉じん曝露濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粉じん自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	4 石綿含有吹付け材の除去 [6. 3. 2] 5 除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等 [6. 3. 3] 6 石綿含有保温材等の除去 [6. 4. 3] 7 石綿含有成形板の除去 [6. 5. 3]	6 特殊な建設副産物の処理	1 フロン [7. 3. 1] 2 特定化学物質等 [7. 3. 1]
適用	測定名称	測定場所	測定 点（各施工箇所ごと）																																																		
・ 測定1	始業作業前	始業作業室内	・ 計 点																																																		
・ 測定2	始業作業前	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																		
・ 測定3		始業作業室内	・ 計 点																																																		
・ 測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点																																																		
・ 測定5	始業作業中	集じん・排気装置の排出口（始業作業室の場合）	・ 計 点																																																		
・ 測定6		始業作業室内	・ 計 点																																																		
・ 測定7	始業作業後（シート養生中）	始業作業室内	・ 計 点																																																		
・ 測定8	始業作業後シート	始業作業室内	・ 計 点																																																		
・ 測定9	始業後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																		
測定名称	測定方法																																																				
・測定4・測定5	粉じん曝露濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粉じん自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																				
II. 建築工事仕様			③ 解体施工	① 騒音・粉塵等の対策 [2. 2. 1] 2 足場その他 [2. 2. 2] ③ 監督職員事務所 [2. 3. 1] ④ 工事用水 ⑤ 工事用電力 ③ 解体施工 1 事前措置 [3. 2. 1] 2 基礎等 [3. 9. 1] 3 杭の解体 [3. 9. 2] 4 さく、照明設備等 [3. 10. 1] 5 構内構築、樹木等 [3. 11. 1] 6 地下埋設物・埋設配管 [3. 12. 1] 7 整地・埋戻し及び盛土 [3. 13. 1] 4 特別管理産業廃棄物等の処理等 1 分析調査 [5. 1. 2] 2 特別管理産業廃棄物 [5. 4. 1] 3 PCB含有有機類等 [5. 4. 1] 4 PCB含有シーリング材 [5. 4. 1] 5 廃油 [5. 4. 1] 6 廃酸・廃アルカリ [5. 4. 1] 7 ダイオキシン類 [5. 4. 1]	① 騒音・粉塵等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート ① 養生シート 設置範囲及び高さ ・ 図示 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常にすべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 ※ 図示ない ・ 既存建物内の一部を使用する（場所 ） ・ 構内に新設する 規模及び仕上げの程度は現場説明の施工条件明示による 構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない ※ 別途引き込みとする ① 構内既存の施設を利用できる（※ 有償 ・ 無償） 浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・ 行う ・ 行わない 捨てコンクリートまで撤去を行う 杭の解体 ・ 行う ・ 行わない 杭の解体方法 ・ 引抜き工法 ・ 破砕による解体 引抜いた杭の処理方法 ・ 図示 ・ 現場説明の施工条件明示による さく、照明設備等の撤去 ※ 図示 ・ 舗装の路盤の撤去 ・ 行う ・ 行わない 樹木の伐根残根及び移植 ・ 行う ・ 行わない 地下埋設物・埋設配管の撤去 ・ 行う ・ 行わない 解体後の埋戻し及び盛土 ・ 行う 整地高さ ・ 現状G.L. ・ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土・再生コンクリート砂 ・ 現場発生した良質土 現場にてサンプルを採取し、分析調査を行う。 分析調査対象材料 ・ 廃油（採取場所 ） ・ 廃酸、廃アルカリ（採取場所 ） ・ 微量PCB（採取場所 ） ・ ダイオキシン類（採取場所 ） 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所 特別管理産業廃棄物の種類、処分等 ・ 事前調査対象機器 ・ （試験数 個） ・ （試験数 個） 微量PCBの分析調査 PCB含有シーリング材の分析調査及び撤去 ・ 廃油の処理 ・ 行う ・ オイルタンク、オイルサービスタンク、機器類等（配管含む） タンク内部の清掃 ※行う ・ 行わない 廃酸・廃アルカリの処理 ・ 臭化リチウム（直接吸収冷水機） ・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液 サンプリング調査 解体方法及び処分方法 ・	① 一般共通事項	※適用基準等 1 電気保安技術者 [1. 3. 3] ② 施工条件 [1. 3. 5] ③ 安全計画書 [1. 3. 6～8] ④ 環境への配慮 [1. 3. 9] ⑤ 発生材の処理 [1. 3. 10]	・ 営繕工事写真撮影要領（令和4年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部 ・ 建築工事標準詳細図（令和5年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課 ・ 適用する 施工時間等 ※指定なし ③指定あり 監督職員と協議するものとする 施工ができない日等 ※指定なし ③指定あり 監督職員と協議するものとする 部位別の施工順序 ※指定なし ・ 指定あり（ ） 工事車両の駐車場所（※図示 ・ ） 資機材置場（※図示 ・ ） 建設発生土仮置場（※図示 ・ ） 建築工安全安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）を参考に、工事安全計画書を作成し、監督職員に提出する。 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成29年2月7日閣議決定）における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は、可能な限り容易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。 ・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資源化を図るもの ・ コンクリート類 ・ アスファルトコンクリート類 ・ 建設発生土 ・ 管理型の産業廃棄物（下記以外は関係法令等に特に適切に処理） ・ 廃石膏ボード ・ PCB含有シーリング材の処理 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ・ 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇所 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 ※図示 ・ セットアップボードの設置 ・ 石綿含有セットアップボード 6室による ・ ひも・カドミウム含有セットアップボード ・ 製造業者が回収委託 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ） ・ 石綿含有、ひも・カドミウム含有以外のセットアップボード ・ 再生資源化（再生資源化施設） 最終処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ）	【工事名称】 赤磐市立山陽西小学校排水設備改修工事 【図面番号】 【図面名称】 建築解体工事特記仕様書 後収印																																												



■内部部分改修工事用仮設

■ 仮設工事特記

- ## ■改修工事凡例



設計番号

作成者

檢 閱

面番号

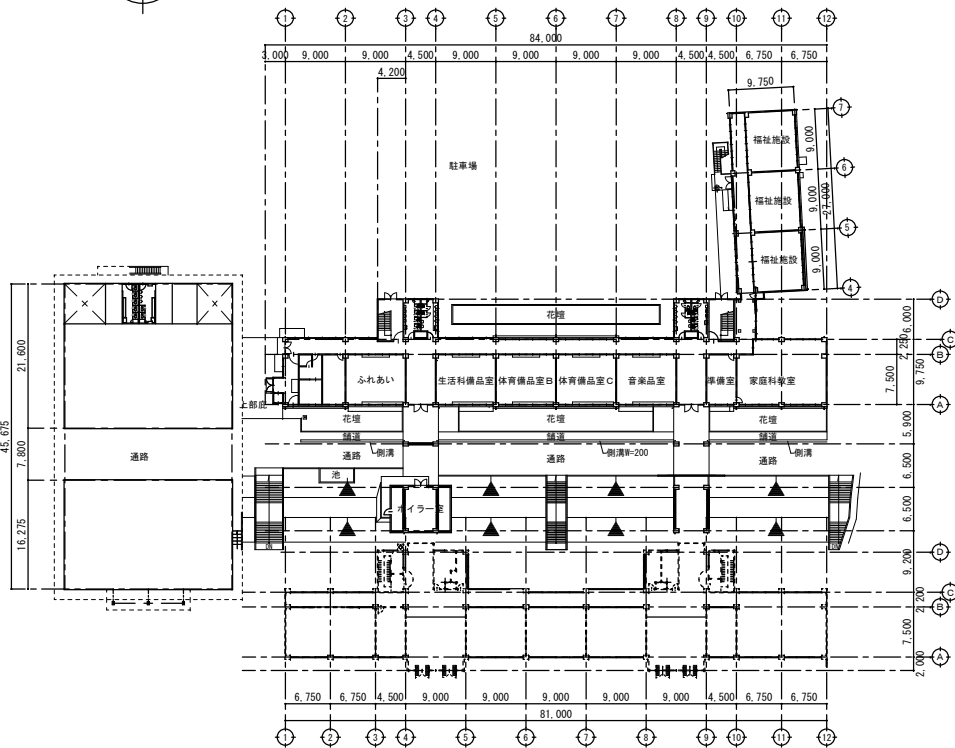
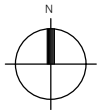
縮 尺	A1 S=1/300 A3 S=1/600
-----	--------------------------

日 付

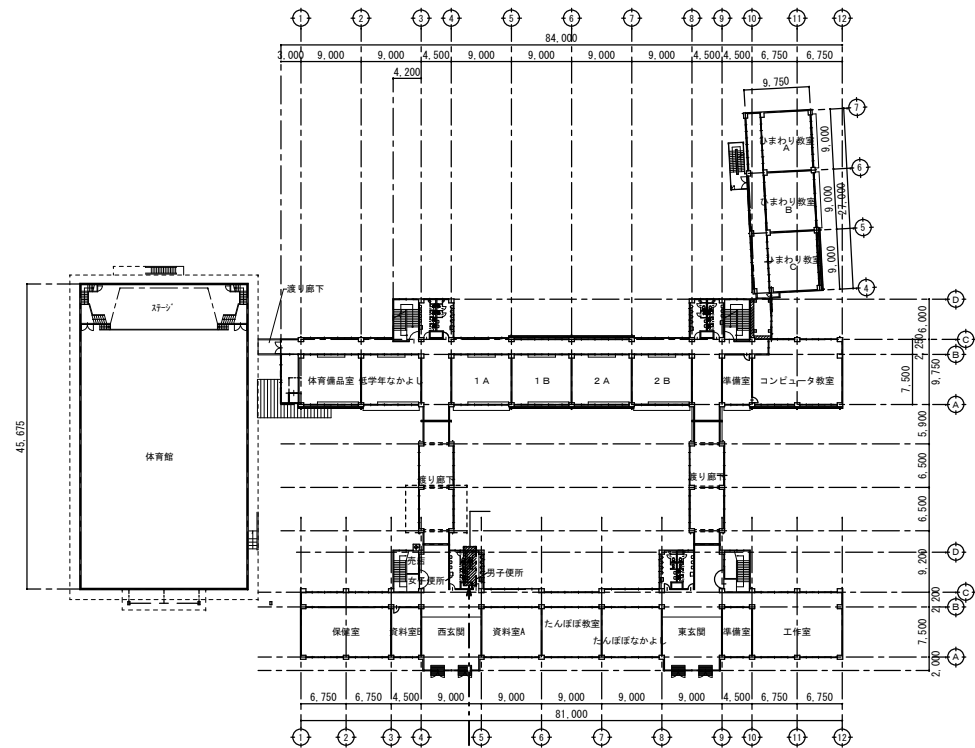
A-09

■ 改 修 仕 上 表

位 置	部 位	既 設 仕 上	撤 去 内 容	改 修 仕 上	備 考
便 所	2階男子便所天井	LGS下地 ヴィンチ板 t=6 EP-G	下地共部分撤去(撤去カ所:図示)	LGS下地 ヴィンチ板 t=6 新設(図示の部分) EP-G塗(男子便所全面)	3階女子職員便所の排水管改修に伴い、階下の2階男子便所の天井を撤去し、復旧する。



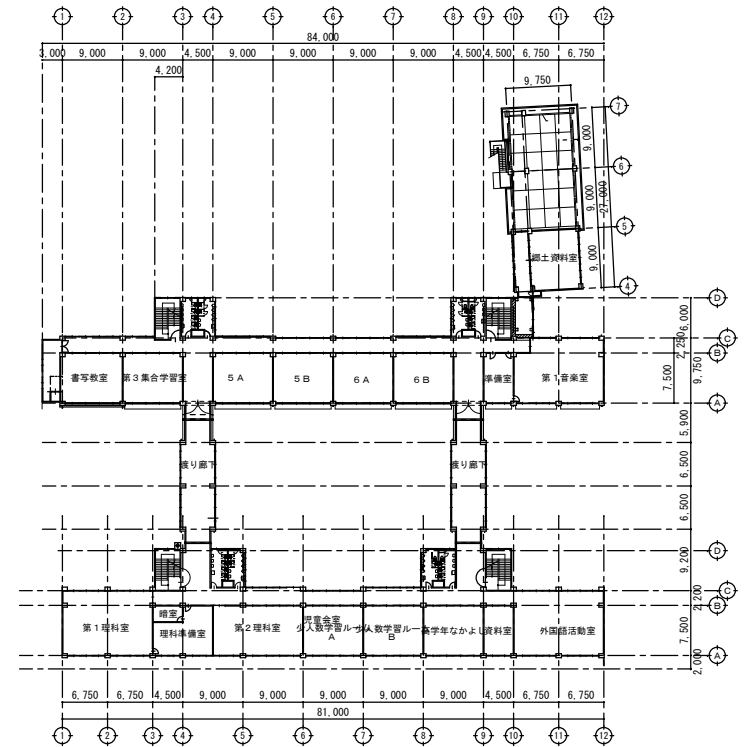
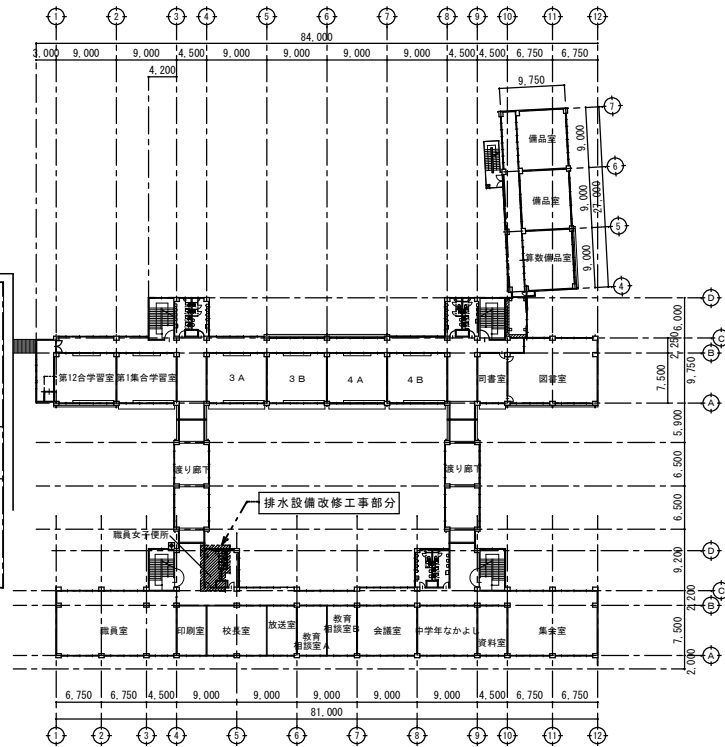
1階平面図 S=1:400



2階平面図 S=1:400

排水設備改修工事に伴う便所改修部分
(3階工事影響による一部天井撤去・復旧)

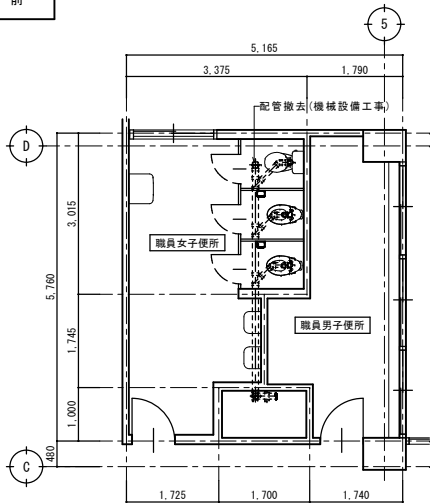
改修部分を示す



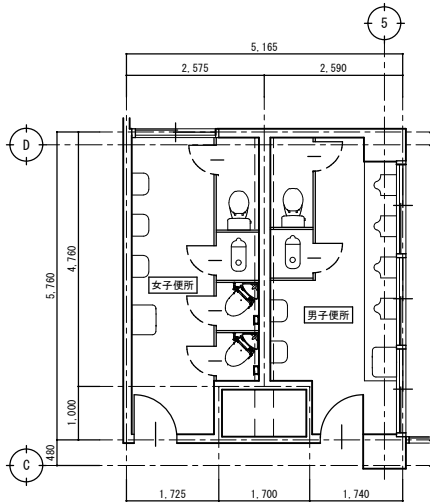
 改修部分を示す

■設備改修工事に伴う便所天井改修工事

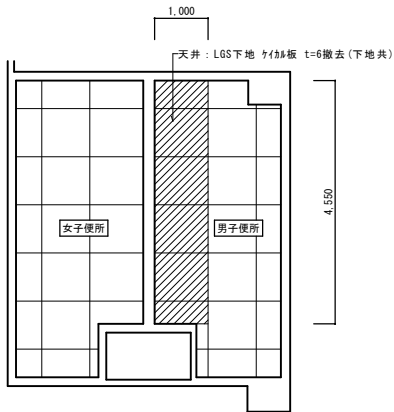
改 修 前



3階平面図(便所改修部) S=1:50



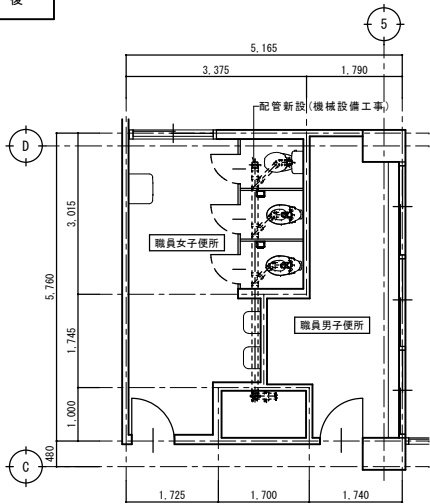
2階平面図(便所改修部) S=1:50



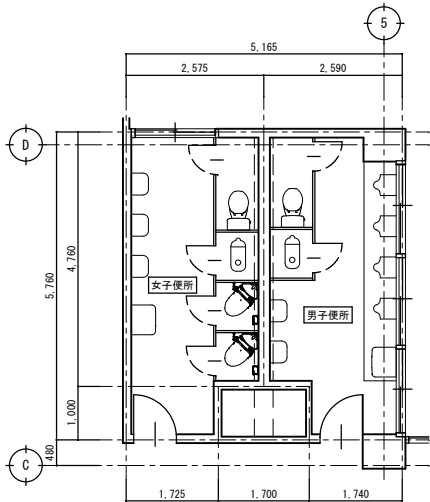
2階天井伏図(便所改修部) S=1:50

撤去部分を示す

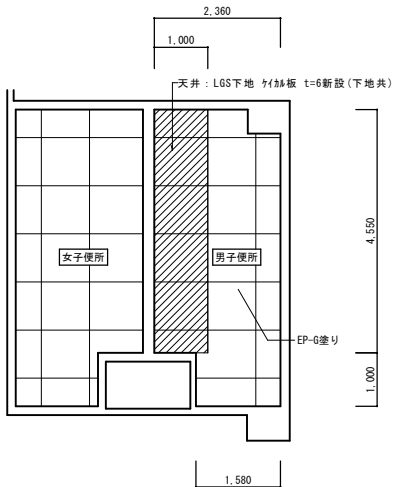
改 修 後



3階平面図(便所改修部) S=1:50



2階平面図(便所改修部) S=1:50



2階天井伏図(便所改修部) S=1:50

LGS・ボード新設部分を示す

※EP-G塗りは男子便所天井全面とする。

件 名 赤磐市立山陽西小学校排水設備改修工事

図面名 トイレ改修工事図

図利番号

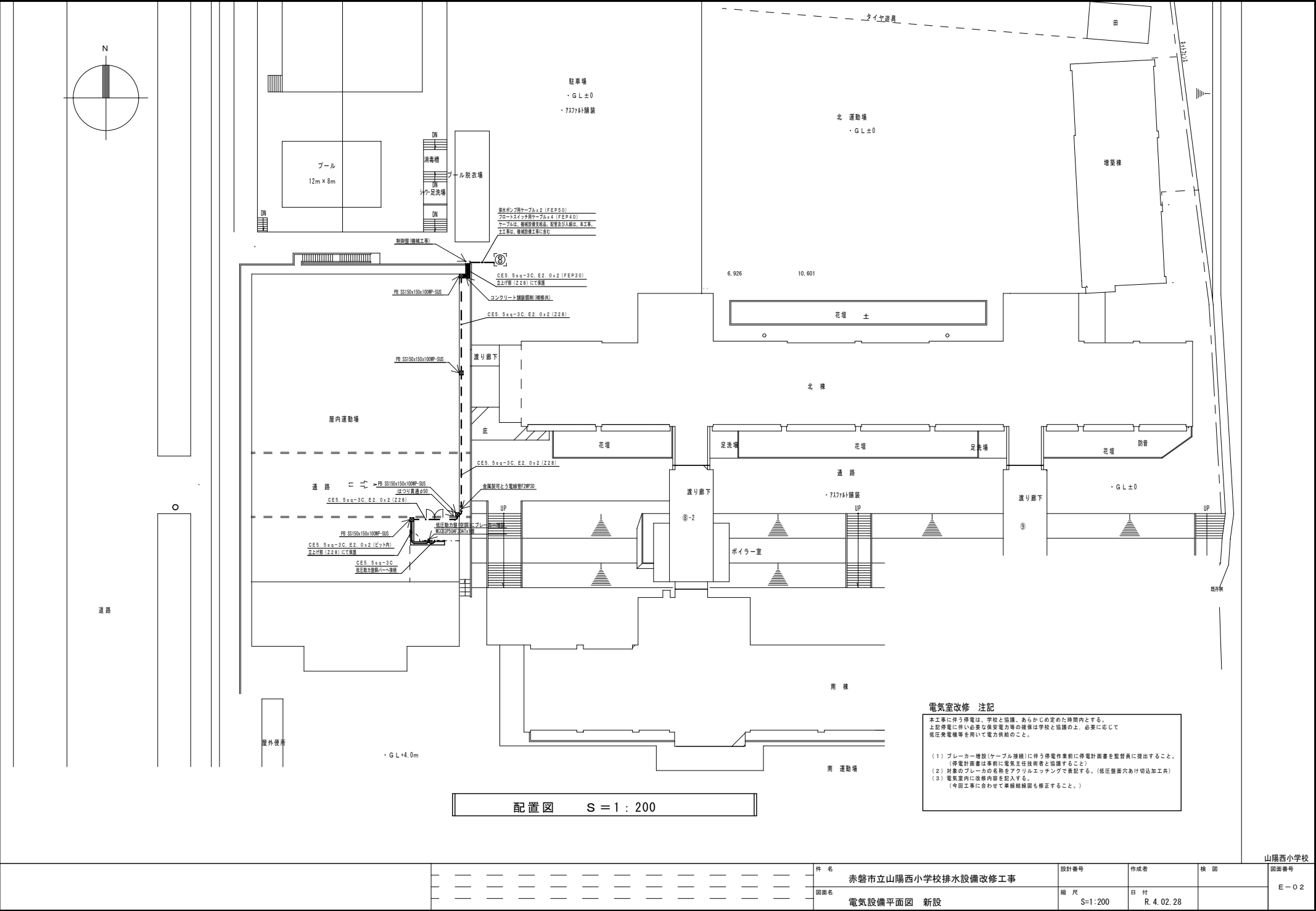
縮 尺 A1 5:1/50
A3 5:1/100

作成者

日 付 R4.02.28

検 査

図面番号 A-1.1



電気室改修 注記

本工程に伴う停電は、学校と協議、あらかじめ定めた時間内とする。
上記停電に伴い必要な保安電力等の確保は学校と協議の上、必要に応じて
低圧発電機等を用いて電力供給のこと。

(1) ブレーカー増設(ケーブル接続)に伴う停電作業前に停電計画書を監督員に提出すること。
(停電計画書は事前に電気主任技術者と協議すること)
(2) 対象のブレーカーの名称をアクリルエッチングで表記する。(低圧盤穴あけ切込加工時)
(3) 電気室内に改修内容を記入する。
(今回工事に合わせて最終縮刷図も修正すること。)

配置図 S = 1 : 200

											件 名	設計番号	作成者	検 図	図面番号
											赤磐市立山陽西小学校排水設備改修工事				E - 0 2
											図面名	縮 尺	日 付		
											電気設備平面図 新設	S=1:200	R. 4. 02. 28		

機械設備工事特仕仕様書

1. 工事概要

2. 図面

3. 仕様

4. 材料

5. 施工

6. 検査

7. 竣工

8. 保証

9. 備考

10. 別紙

11. 備考

12. 備考

13. 備考

14. 備考

15. 備考

16. 備考

17. 備考

18. 備考

19. 備考

20. 備考

21. 備考

22. 備考

23. 備考

24. 備考

25. 備考

26. 備考

27. 備考

28. 備考

29. 備考

30. 備考

31. 備考

32. 備考

33. 備考

34. 備考

35. 備考

36. 備考

37. 備考

38. 備考

39. 備考

40. 備考

41. 備考

42. 備考

43. 備考

44. 備考

45. 備考

46. 備考

47. 備考

48. 備考

49. 備考

50. 備考

51. 備考

52. 備考

53. 備考

54. 備考

55. 備考

56. 備考

57. 備考

58. 備考

59. 備考

60. 備考

61. 備考

62. 備考

63. 備考

64. 備考

65. 備考

66. 備考

67. 備考

68. 備考

69. 備考

70. 備考

71. 備考

72. 備考

73. 備考

74. 備考

75. 備考

76. 備考

77. 備考

78. 備考

79. 備考

80. 備考

81. 備考

82. 備考

83. 備考

84. 備考

85. 備考

86. 備考

87. 備考

88. 備考

89. 備考

90. 備考

91. 備考

92. 備考

93. 備考

94. 備考

95. 備考

96. 備考

97. 備考

98. 備考

99. 備考

100. 備考

機 器 番 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量			台数	設置場所	備 考
			φ	V	KW			
PW-2	ポンプ付排水槽	形 式 : FRP水槽一体型排水ポンプユニット	3	200	1.5	1	屋外埋設	コンクリート基礎・柱・天端スラブ(建築工事)
		有 効 容 量 : 1,000L					(単独交互運転)	制御盤基礎(建築工事)
		寸 法 : 1,520φ×1,900H (汚水槽)						制御盤据付 配管配線工事(電気工事)
		:						
		水 槽 付 属 品 : マンホール蓋(重耐型)、フロートスイッチ×4個、制御盤(屋外型)						
		制御盤スタンド、マンホールかさ上げ輪						
		ポン プ 能 力 : 50 φ x 100 l / min x 10 m x 3 φ × 200V × 1.5kw × 2 台						
		ポン プ 付 属 品 : ポンプ着脱装置						

浄化槽	汚水量/人 日	汚水量/日	汚水量/min (日=8h)	水槽	ポンプ 起動回数	ポンプ 運転時間	ポンプ 運転間隔
100人	50L	5,000L	10.4L/min	1,300L	4回/8h	13分	125分
					100L/min	100L/min	150L/min

ポンプ揚程 (Hn) 計算 (50A 150L/min)

配管直管部抵抗 (m)

R=0.4KPa/m (図7-2配管摩擦抵抗線図より 単独運転時 100L/min)

L=70m(約 63m) (図M-04-2より 口径50A 配管長 70m)

H1=R×L/9.8

=0.2×70/9.8

=1.43 (m)

配管局部部抵抗 (m)

H2=直管部抵抗×2

=1.43×2

=2.86 (m)

配管出口水頭 (m)

v = 1.2m/s

H3=v²/2・g

=0.07 (m)

液面と吐出口の高低差 (m)

H4=3.0

ポンプ揚程 (Hn)

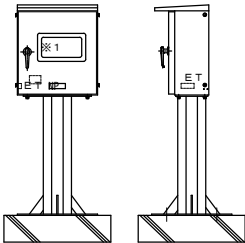
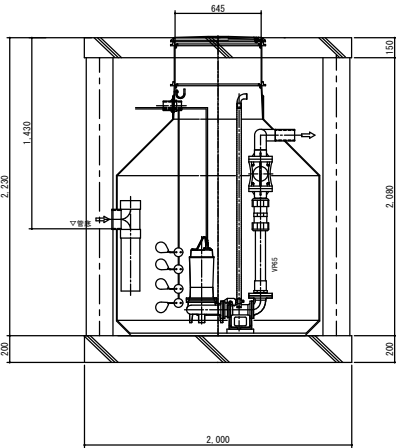
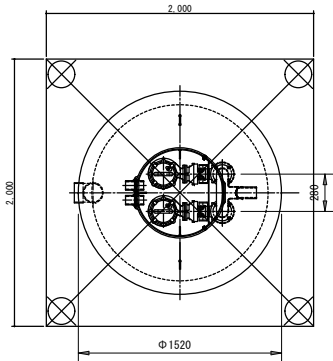
H=1.43+2.86+0.07+3.0

=7.36 (M)

7.36×1.2 (余裕率)

=8.83 (m)

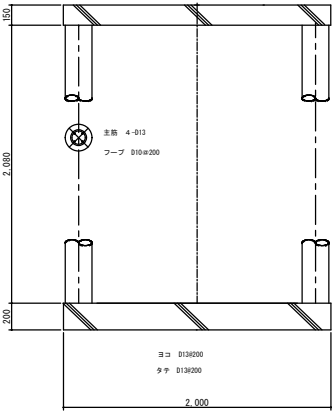
排水ポンプユニット参考図

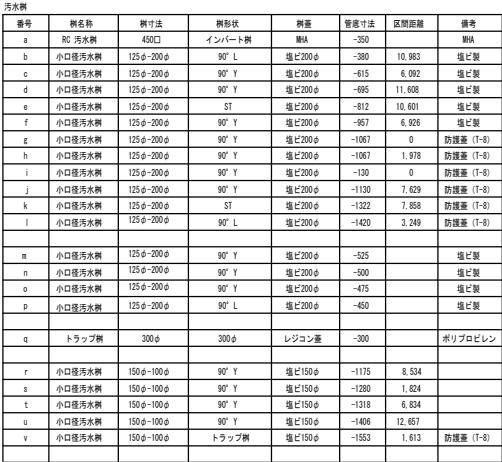



EPJ2-1 屋外型外形図

タテ 0130200

ヨコ 0130200

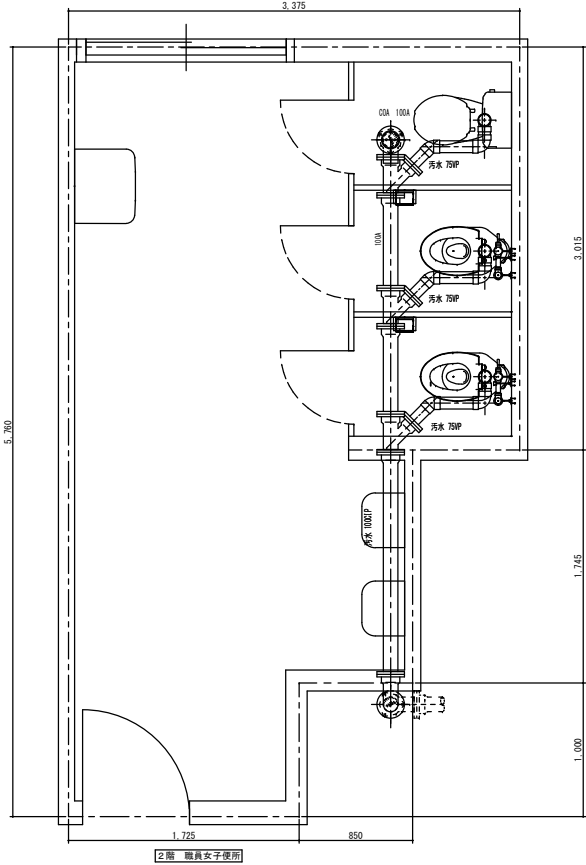




記号	名称	材料 仕様	記号	規格
	汚水・雑排水管	(土中) 硬質ポリ塩化ビニル管	VU	JIS K6742
	汚水井	小口径塩ビ井		
	ポンプ井	(土中) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HVP	JIS K6742

配置図 S = 1 : 200

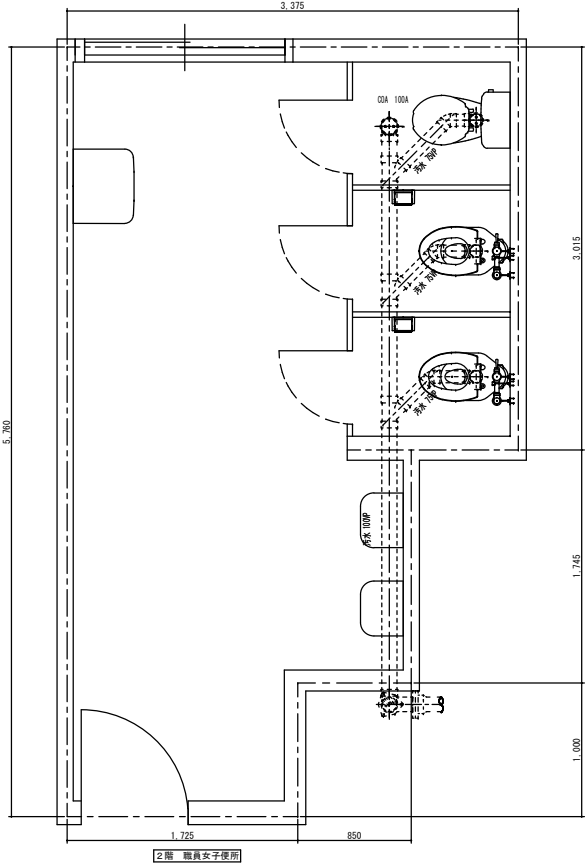
改修前



平面詳細図（改前後） 1：20

※ 実線の配管は 撤去

改修後



平面詳細図（改前後） 1：20

※ 実線の配管は 新設